

令和8年度神奈川県立中央農業高等学校 1学期始業式 校長あいさつ

おはようございます。1学期始業式にあたり、私から話をします。皆さんは毎日、登校するときの一つの言葉を目にしています。正門の石碑に刻まれた「命はぐくむ」という言葉です。この言葉こそ、本校の学びの原点です。

農業の学びは、命を育てる学びです。作物を育てること、動物を世話すること、そして命を食としていただくこと。そこには自然への感謝と、命を預かる責任があります。思い通りにいかないことも多く、時間も手間もかかります。しかし、その経験の一つ一つが、皆さんに「命の重み」と「社会を支える役割」を確実に教えてくれます。

そして本校が育てている命は、それだけではありません。皆さん一人ひとりの可能性という命も、この学校で生まれています。

授業、実習、部活動、学校行事、仲間との関わり。挑戦し、失敗し、再び挑戦する。その繰り返しこそが、皆さんを大きく成長させます。新しい学年は、新しい自分をつくる一年です。自分の可能性を自分で広げてください。

これからの社会は、変化が激しく、正解が一つではありません。だからこそ必要なのは、自ら考え行動する力、そして人と協働する力です。本校の学びは、その力を身につけるための学びです。日々の経験すべてに意味があります。一日一日を本気で積み重ねてください。

また、「命はぐくむ」という言葉には、人を思いやる心が含まれています。互いを尊重し、安心して挑戦できる学校を、皆さんとともにつくっていきます。

ここで皆さんに一つ、強くお願いをします。人とのコミュニケーションを大切にしてください。人は一人では生きていけません。社会は人と人との関わりで成り立っています。互いを認め合い、相手の話を聞き、自分の考えを伝える。この力は、皆さんが社会に出たとき必ず必要になります。

その中でも、特に大切にしてほしいことがあります。相手の話をよく聞くことです。相手が何を考え、何を伝えようとしているのかを真剣に聞く。そこから信頼が生まれ、理解が生まれます。コミュニケーションの出発点は「聞くこと」です。授業中も、友人との会話も、家庭での会話も、すべての場面で意識してください。

明日は入学式です。新しい仲間を迎え、中央農業高校の一年が本格的に動き出します。皆さん一人ひとりが自覚と誇りを持ち、力強いスタートを切ることを期待しています。この一年を、確かな成長の一年にしましょう。

